

# 令和7年度 全国学力・学習状況調査 江南市結果

江南市教育委員会

市内の小学校6年生と中学校3年生の全児童生徒を対象に、令和7年4月に行われました全国学力・学習状況調査から見られる特徴の中で、代表的なものを紹介します。

江南市教育委員会では、「児童生徒がよりよい生活をするために」、学力との関連を考慮し、生活習慣について見直していきたいと考えています。

## 【小学校6年生】

全国学力・学習状況調査の結果より、市内小学校10校の全体の状況を示します。

○：調査結果がよく、今後も伸ばしていきたいこと ●：課題として捉え、指導に力を注いでいきたいこと

### □1 学力の高い児童の生活態度

- 朝食を毎日食べている。
- 新聞を、週に1～3回程度以上読んでいる。
- 学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たり30分以上読書をする。（電子書籍の読書も含む。教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）

### □2 質問調査の結果〈全国と比べて差がある主なもの〉

- 学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たり2時間以上勉強する（学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）と回答した児童の割合はやや高い。
- 人が困っているときは、進んで助けていると回答した児童の割合はやや高い。
- 毎日、同じくらいの時刻に寝ていると回答した児童の割合は低い。

### □3 教科に関する調査の結果

国語	平均正答率は、全国と同程度である。  <input type="radio"/> 時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えることができる。 資料を読み、「あたらしい」という言葉の形が時代とともにどのように変化したのかを捉え、空欄に入る適切な言葉を資料の中から書き抜く。 <input type="radio"/> 学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことができる。 文中の下線部を、漢字を使って書き直す。 <input checked="" type="radio"/> 目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる。 手ぬぐいについて推薦するちらしの傍線部を、【調べたこと】を基に詳しく書き直す。
算数	平均正答率は、全国と同程度である。  <input type="radio"/> 伴って変わる二つの数量の関係に着目し、問題を解決するために必要な数量を見いだし、知りたい数量の大きさの求め方を式や言葉を用いて記述できる。 使いかけのハンドソープがあと何プッシュすることができるのかを調べるために、必要な事柄を判断し、求め方を書く。 <input type="radio"/> 台形の意味や性質について理解している。 方眼上の五つの图形の中から、台形を選ぶ。 <input checked="" type="radio"/> 数直線上で、1の目盛りに着目し、分数を単位分数の幾つ分として捉えることができる。 数直線上に示された数を分数で書く。
理科	平均正答率は、全国と同程度である。  <input type="radio"/> 顕微鏡を操作し、適切な像にするための技能が身に付いている。 ヘチマの花粉を顕微鏡で観察するとき、適切な像にするための顕微鏡の操作を選ぶ。 <input type="radio"/> 「水は温まると体積が増える」を根拠に、海面水位の上昇した理由を予想し、表現することができる。 海面水位の上昇について、水の温度による体積の変化を根拠に予想しているものを選ぶ。 <input checked="" type="radio"/> 種子の発芽の条件について、差異点や共通点を基に、新たな問題を見いだし、表現することができる。 レタスの種子の発芽の結果から、【気付いたこと】を基に、見いだした問題について書く。

## 【中学校3年生】

全国学力・学習状況調査の結果より、市内中学校5校の全体の状況を示します。

○：調査結果がよく、今後も伸ばしていきたいこと ●：課題として捉え、指導に力を注いでいきたいこと

### □1 学力の高い生徒の生活態度

- 分からぬことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することができている。
- 学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たり1時間から2時間、読書をする。（電子書籍の読書も含む。教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）
- 学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができている。

### □2 質問調査の結果〈全国と比べて差がある主なもの〉

- 授業で、PC・タブレットなどのICT機器をほぼ毎日使ったと回答した生徒の割合は非常に高い。
- 学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たり2時間以上勉強する（学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）と回答した生徒の割合は高い。
- 普段の生活の中で、幸せな気持ちになることがよくあると答えた生徒の割合はやや高い。
- 自分には、よいところがあると思うと回答した生徒の割合は非常に低い。

### □3 教科に関する調査の結果

国語	平均正答率は、全国と同程度である。 ○ 書く内容の中心が明確になるように、内容のまとまりを意識して文章の構成や展開を考えることができる。 ● ちらしの中の情報について、示す位置を変えた意図を説明したものとして適切なものを選択する。
	○ 表現の効果について、根拠を明確にして考えることができる。 ● 物語の始めに問い合わせが示されていることについて、その効果を説明したものとして適切なものを選択する。 ● 事象や行為を表す語彙について理解している。 ● 「しきりと」の意味として適切なものを選択する。
数学	平均正答率は、全国と同程度である。 ○ 証明を振り返り、証明された事柄を基にして、新たに分かる辺や角についての関係を見いだすことができる。 ● 四角形AECFが平行四辺形であることの証明を振り返り、新たに分かることを選ぶ。
	○ 一次関数 $y=ax+b$ について、変化の割合を基に、 $x$ の増加量に対する $y$ の増加量を求めることができる。 ● 一次関数 $y=6x+5$ について、 $x$ の増加量が2のときの $y$ の増加量を求める。 ● 式の意味を読み取り、成り立つ事柄を見いだし、数学的な表現を用いて説明することができる。 ● $3n$ と $3n+3$ の和を $2(3n+1)+1$ と表した式から、連続する二つの3の倍数の和がどんな数であるかを説明する。
理科	平均IRT*スコアは、全国と同程度である。 ○ 気圧に関する知識が概念として身に付いている。 ● クリーンルームのほかに気圧を利用している身近な事象を選択する。
	○ スケッチから分かる植物の特徴を基に、植物の葉、茎、根のつくりに関する知識及び技能を活用して、植物の茎の横断面や根の構造について適切に表現できる。 ● 牧野富太郎の「サクユリ」のスケッチから、サクユリの【茎の横断面】、【根】として適切なものを判断し、選択する。 ● 仮説を立てて科学的に探究する学習場面において、電気回路に関する知識及び技術を活用して、仮説が正しい場合の結果を予想することができる。 ● 設定した【仮説】が正しい場合の実験結果の予想を選択する。

\*IRT…項目反応理論。児童生徒の正答・誤答が、問題の特性（難易度、測定精度）によるのか、児童生徒の学力によるのかを区別して分析し、児童生徒の学力スコアを推定する統計理論。中学校理科に関する結果返却・公表については、IRTに基づいて算出されたスコアをベースに行われている。（文部科学省ホームページより）

### お願い

この調査で測定した力は、学力の一部分です。家庭や地域では、子どもの得意なこと、不得意なことを知り、生活に意欲がもてるような励ましをお願いします。